

サポートセンター通信

NO. 36

発行元：松本市民活動サポートセンター
 〒390-0874 松本市大手3-8-13
 松本市役所大手事務所2階
 TEL/FAX：0263-88-2988
 E-mail：support-center@support-center.jp



市民活動フェスタ 2011 ぼくらの学校が 10月1日(土)2日(日)開催されました。

10月1日12:00。Everlyのコンサートで市民活動フェスタ2011がスタートしました。今年のテーマは“わ”をつなげよう。松本を中心に活動している市民活動団体36団体が参加して、日頃の活動の発表や分野を超えた団体相互の交流を行った会場に、約500人の市民の方をお迎えしました。

今年は2日間の開催ということで、プログラムも充実。ポスターセッションでは20団体が、それぞれの活動の様子をブースに展示しました。展示のスペースは限られていましたが、それぞれ違った展示の仕方工夫されており、ブースを訪れた来場者の方と話し込む場面も多くみられました。



ポスターセッションの様子



出店の様子

ワークショップは10団体が出展。“市民活動”という言葉の響きには難しそうなイメージがありましたが、参加している皆さんが笑顔で盛り上がり、身近に感じている様子だったのが印象的でした。実際に触れてみることで“市民活動”へのイメージが変わり、興味をもってくれる方が少しでも増えればいいなあと思いました。

6団体によるステージパフォーマンスで講堂内は和やかなムードにつつまれ、並木道は明るいダンスで活気づいていました。並木道には他に6団体による出店・販売があり、食事やおやつ、小物などが並びました。手作りならではのオリジナルグッズも多く、買うことだけでなく“見る”ことも楽しめる出店で賑わっていました。

参加した団体の方からは「自分達ももっと頑張ろうというエネルギーをもらった」という声もあり、こういった交流の場から“わ”が広がっていくことが実感できました。

市民活動団体の有志のみなさんからなる実行委員会形式で開催する2回目のフェスタでしたが、委員の皆さんや参加して下さった団体の皆さん、本当にお疲れ様でした！皆さんの力で、有意義な2日間にすることができました。ふり返りシートで知ることのできた様々な視点からの反省点や良かった点は、次回以降に活かしていきたいと思えます。

また今後、来年のフェスタに向けて企画委員を募集します。「フェスタでこんなことがやりたい！」という思いを実現させませんか？

ぜひ企画委員会へご参加ください！

(さいだ)



積み木ワークショップの様子



チラシづくり講座

11月29日(火) 18:30~20:30【基礎編：効果的なチラシとは？Wordの機能に慣れよう】

11月30日(水) 18:30~20:30【実践編：実際にチラシを作ってみよう！】

会場：まつもと情報創造館4階研修室(松本市和田4010-27 臨空工業団地内 Tel:0263-48-7000)

講師：NPO法人オフィスロイヤル 参加費：無料

定員：20名程度 持ち物：USBメモリ等記録メディア

申込み(E-mail、電話、FAX)お問合せは市民活動サポートセンターまで！ TEL&FAX：0263-88-2988



NPO 運営セミナー

【NPOを優良事業体に】NPO独自の組織について整理し、NPOの強みを生かした法人運営のノウハウを学ぼう

今回の市民活動フェスタ2011の中で行なわれたフォーラムの講師、田中尚輝氏によるセミナーが行なわれます。

(フォーラムの内容について詳しくは2ページへ！)

11月24日(木) 13:00~16:00 会場：松本市あがたの森文化会館

定員：30名 受講料：無料 資料代：500円(当日会場にて徴収)

主催：長野県 受託団体：特定非営利活動法人 くらり net 共催：市民活動サポートセンター

申込み：特定非営利活動法人 くらり net TEL&FAX：0265-56-8056 E-mail：info@clari-net.org

知っていますか義援金と支援金の違い

・・・あなたの思いをどう届けるか・・・

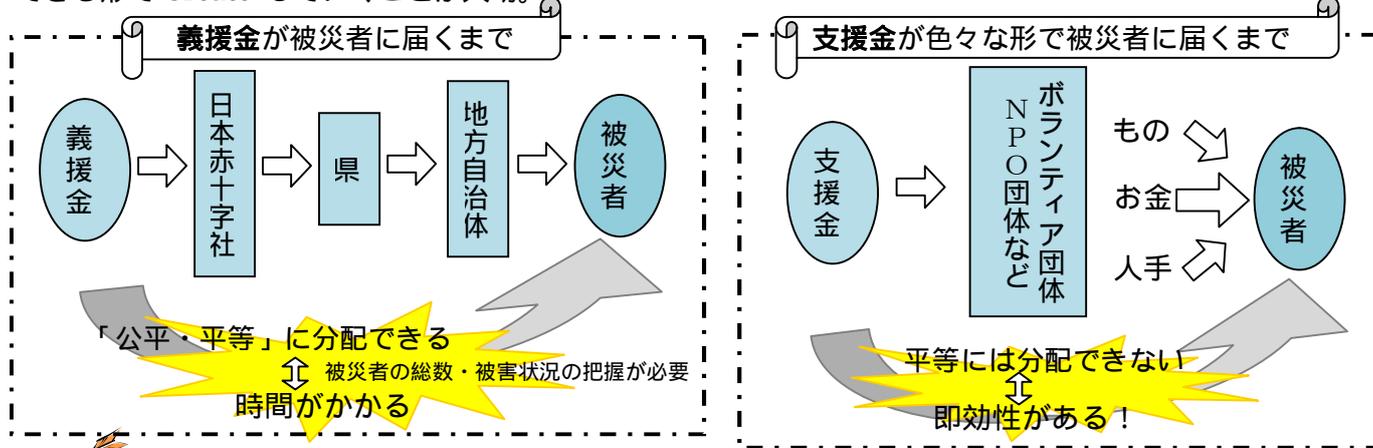
市民活動フェスタ2011 in 松本「ぼくらの学校」の2日目(10月2日(日)午前10時から正午)に、あがたの森文化会館講堂にて開催しました。田中尚輝氏による基調講演、続いて、実際に東日本大震災被災地支援に携わった市内の市民活動家のみなさんによるパネルディスカッションを行ないました。



田中尚輝氏
(NPO法人市民福祉団体
全国協議会専務理事)

基調講演 義援金と支援金の違いを認識することで、見えてくるものがある

義援金と支援金の違いについて意外に知られていない現状がある。今一度、その違いを認識して、そこから見えてくるものが何なのかを知ることが大切。義援金は平等に分配できる反面、即効性がない。一方、寄付やボランティアというような支援で自分の気持ちを具現化すれば、成果も具体的に見える。やり方は様々にあり、アイデアとして見えてきたものの中から自分がこうすべきだというものに力を入れ、それぞれの人々がそれぞれにできる形で Create していくことが大切。



パネルディスカッション 支援の仕方は、寄付金だけではない!



市川荘一氏
(ルピナ中部工業(株)
代表取締役)

「すぐに行動」を心がけ、持ち寄り物資を友人に託し送付、社員から集めた義援金の送付、お風呂及び給水の設置。ありがたい迷惑にならない形で継続した支援活動をしたい。

お風呂を設置しました!



麻和真樹氏(ルピナ社員)

実際に さまざまな形で 支援を行なったみなさん

普段のフリーマーケットを通してラジオや毛布等の必要な支援物資を収集し、現地入りする方に託し支援。支援する人・応援する人を増やすことが大切。何が 필요한のかを見極め、継続して支援していきたい。



立石恵子氏
(フリマネット信州代表)



百瀬高子氏

新聞で現地に行く仲間を募り、呼びかけたりと即座に行動。現地では、預かった毛布等の物資を届けるだけでなく、傾聴やお手玉あそびで、被災者の心をケア。被災者の負った傷は深く、癒えるには時間がかかるが、継続的に支援をしたい。



桑原美由紀氏
(NPO法人てくてく代表)

「どんぐり」店長の浅田さんと連携し、喫茶機能のあるワゴンカーで炊き出しに。資金の一つには、海に流された缶詰を売ることで、捻出。誰かがどこかで役に立つだろう義援金よりも、募金をはじめとして、いつでも誰でもどこでもできる支援を精一杯やっていきたい。



木内義勝氏(司会)

imagination (想像力) を豊かに働かせ、相手の立場にどれだけなれるか、empathy (感情移入) の気持ちを持つことが大切。

Close up

このコーナーでは、松本市近郊でさまざまな活動をしている団体をご紹介します！！
今回お話をうかがったのは、「松本市子育てコミュニティサイトプロジェクト」です。

松本市子育てコミュニティサイトプロジェクト

問い合わせ先

TEL:0263-34-3261 (松本市 こども育成課)

Email: jimukyoku@hug-matsu.jp

松本市公式子育てポータルサイト『はぐまつ』の運営・管理をされている、松本市子育てコミュニティサイトプロジェクトの理事、西森尚己さんにお話を伺いました。

『はぐまつ』の「はぐ」は Hug (抱き締める) であり、育む。「まつ」は松本を示し、「子どもだけでなく親もみんなと一緒に育ちあう松本コミュニティ」という意味を持っています。市民と行政との協働で運営されるコミュニティサイトで、「ここを見れば松本の子育てが全てわかる」「このサイトで人と人との関係を作るきっかけができれば」という思いから作られました。子どもが成人するまでの期間におきるさまざまな悩み事などを相談、共有し、情報交換の場として利用して欲しいということです。

サイトを飛び出し、会員のための入力講習会や、登録する子育て支援団体の力を生かした交流会の開催等も行っています。現在、東日本大震災により松本で避難生活を送っている方々に、子育て情報やリサイクル品の提供を行う交流会を開催するなど、活動範囲を広げています。「是非一度『はぐまつ』のサイトを訪れてほしい。多くの人に投稿していただき、サイトを盛り上げていきたい。」と西森さんは話してくださいました。(取材：あそう)



はぐまつ会員、市民記者随時募集！
申し込みは『はぐまつ』サイトより
<http://www.hug-matsu.jp/>

NPO豆知識

NPOがおこなう資金調達の方法

今日、「新しい公共」の支援・推進事業の担い手としてNPOの社会的役割に期待が高まる一方で、多くの団体は資金不足の悩みを抱えています。

NPOの主な財源は、会費、自主事業収入の自己財源、寄付金、政府・行政からの補助金・委託事業収入(公的資金)、民間助成金、民間の委託事業収入、融資金等の外部資金に分けることができます。当然のことながら、団体が継続的に自立した活動をおこなうためには、安定した資金が必要であり、その調達は経営能力上、大きなウエイトを占めます。

近年、行政からの支援は増えつつありますが、寄付や助成金などの民間財源は伸び悩み、「民から民」への資金の流れは依然として大きいものではないことから、多様な民間財源を開拓し、発達させていくことが急務とされています。

こういった状況から、「民間が担う公共」を支えるための法人税制の改革が進められてきました。2011年6月22日の新寄付税制関連法案の成立を受け、認定NPO法人等への寄付については、これまでの所得控除に加えて税額控除が選択できるようになりました。また今回の改正により、認定NPO法人となるための要件の一つであるパブリックサポートテスト(PST:法人が広く一般から支持されているかどうかを数値により計測する指標)要件の判定方式が新しくなりました。現行の割合による判定方式(総収入に占める寄附の割合が5分の1(20%)以上)の他に、絶対値により判定する方式(例:3000円以上の寄付者を年間100人以上)が導入され、選択適用できることとされるなど、認定要件の幅も広がりを見せています。

認定NPO法人への道を切り開くには、広く多くの方々に知ってもらい理解者を増やすことが大切です。資金調達の知識を深めるとともに、社会とのつながりを意識して、充実したNPOとしての活動を目指しましょう！
(くわはら)

イベント情報をお寄せください。

センター通信やホームページで、皆さんのイベント情報や募集情報などをご紹介します。



結婚の手助けをする「幸せおせっ会」!!
お節介ボランティア メンバー募集

「幸せおせっ会」は、松本市民活動サポートセンターのプラチナサロン「とまり木」から誕生した、縁結びのお手伝いをする「お節介おばさん、おじさん」の会です。

【活動計画】

- ・結婚希望者の募集及び相談
- ・結婚相手の紹介
- ・結婚に関する親御さんの悩み事相談
- ・出会いの場の手助け

賛同していただける方を募集しています

【お申し込み・お問い合わせ】

TEL & FAX : 0263-88-2988

(市民活動サポートセンター)又は、

TEL & FAX : 0263-35-0583 (村上)まで



松本市平和都市宣言 25 周年記念「平和を考える市民企画」2

おびやかされるいのち
平和に生きる...を考えるシンポジウム

日時: 11月27日(日)

開場 11:00 ~ ロビー交流会

開演 12:30 ~ 16:00(予定)

第1部...基調講演 安齋育郎氏

「原発事故から見えてくるもの

これからの私たちの暮らし・生き方は？」

第2部...パネルディスカッション

「平和に生きる...とは

『豊かな生活』とは何...」

パネラー: 安齋氏、菅谷昭氏、中馬清福氏

会場: 長野県松本文化会館大ホール

託児所・聴覚障がい者通訳あり

車いすの方事前予約ください

費用: 一般 1000 円 / 学生 500 円

中・高校生無料

主催: 「平和を考える市民企画」2 実行委員会

【お問合せ】: 小島十兵衛 TEL/FAX : 0263-33-9123

携帯 : 090-9231-9941



第9回 渓流保護シンポジウム

...砂防ダムを考える...

シンポジウム

日時: 11月19日(土) 13:00~17:00

会場: 長野県松本勤労者福祉センター

第5会議室(3F)

基調講演: 「砂防ダム問題の今後について」

「赤谷プロジェクトの意義、現状と課題」

パネル討議: 「これからの砂防問題を

どのように解決したらよいか？」

資料代: 500 円

現地見学 霧沢または島々谷

日時: 11月20日(日) 9:00~

無料(交通費等は実費)

集合場所等についてはお問い合わせ下さい

主催: 「渓流保護ネットワーク・砂防ダムを考える」

「水と緑の会」

【お問い合わせ】 TEL : 0263-32-1511(田口)



新聞やテレビでは報道されないフクシマの原発の真実



原発と放射能 ホントウの話
広瀬隆さん講演会

+ 武本和幸氏(原子力資料情報室理事・刈羽村を守る会)

30 年以上前から、幅広い研究で原発事故に警鐘を鳴らし続け、大被害を警告していた、広瀬隆さんの真実の話を聞きませんか？

日時: 11月19日(土)

13:30~17:00(開場 12:30)

会場: 神宮寺アパロホール

駐車スペースに限りがあるため、お乗り合わせか、公共交通機関をご利用ください

定員: 300 名

参加費: 1000 円(中・高校生 500 円)

電話予約またはプレイガイドにてチケットをご購入ください。

(カタクラモール、豊科・塩尻平安堂、ひつじ屋、たつのご書店)

【ご予約・お問い合わせ】

TEL : 090-4628-8549(みづや)

090-9668-4878(やかた)

主催: 原発のない未来をめざす実行委員会

後援: 松本市 松本市教育委員会

~たまには、ママ&パパに子育て休息を!~

「鍋パーティーと子どもクリスマス会」

日時: 12月17日(土)~18日(日)

15:30~翌 11:30(遅刻・早退も相談可)

参加費: 4100 円(2食・参加賞・保険代・材料・宿泊費等含)

対象: 年長~小学6年生(中学生も可)

場所: 松本市内田地区(内田第4町会公民館向かい)

農家民宿「近ちゃん」

主催: 京法館初等育成部

その他: 毎月、様々な活動を実施しています。ぜひ、ホームページ等をご覧ください。

【お申し込み】

希望者は、各家庭ごと5日前までにメールにてご連絡下さい。e-mail:kyohokan@future.ocn.ne.jp
ホームページからも可

<http://www6.ocn.ne.jp/~khks0503/>

参加希望日 子どもの名前 学年 連絡先

お住まいの市町村 健康状態(アレルギー等の有無)

【お問い合わせ】

TEL : 050-3543-9393 または 055-215-6667

担当(和田) 不在の場合も有り

編集後記

サポートセンターに勤め始めてから7ヵ月が経ちました。セミナーやフェスタ・・・と、初めてのことが沢山ありましたが、サポートセンターで勤務しているからこそ勉強できたことも沢山あり、皆様のおかげでとても充実した7ヶ月を過ごすことができました。ありがとうございました。早いもので今年も残りわずか、寒さも急激に厳しくなりますが皆様おからだにお気をつけてお過ごしください!

(さいだ)

